

1 ふじのくに食育推進計画の推進体制

(1) 地域の健康課題を解決するための効果的な推進体制

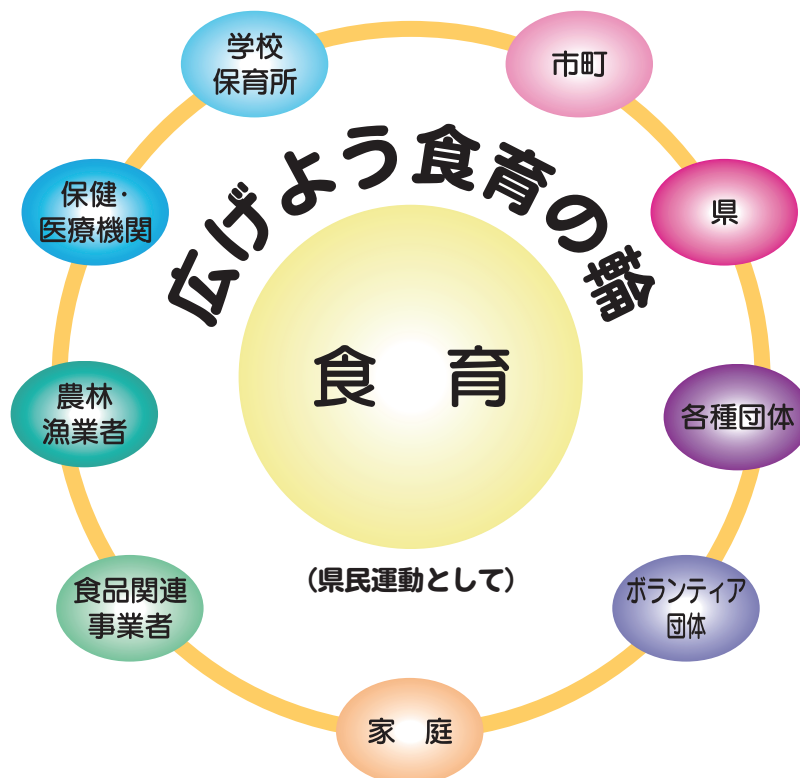
ふじのくに食育推進計画は、第3次ふじのくに健康増進計画の一領域として位置づ
くため、ふじのくに健康増進計画推進協議会の領域別部会及びしずおか食育推進会議
を中心に、各関係機関、団体等が連携を図りながら、当該計画の目標を達成するた
めの行動計画をできるだけ具体的に設定し、効果的な取組を進めていきます。

(2) 多様な主体による自発的取組や連携の推進

食育のさらなる推進を図るためには、関係団体が自発的取組を行うとともに、その
取組について県民に情報発信を行うことで、県民一人ひとりが主体的に食育に取り組
むことを目指します。

2 目標の実現に向けて

目標の実現に向けて、県民一人一人が「食」についての意識を高め、家庭、学校・保育
所等、関係団体等社会の様々な関係者が、それぞれ主体的に、かつ連携して取り組み、県
民運動として食育の輪を広げていくことが大切です。



1 指標の考え方

食育を推進し、施策展開する上で、成果や達成度を客観的な指標により把握できるように、目標値を設定します。現状値は、現在把握している直近値とし、平成34年度の目標値を、関係する計画の指標との整合性を図って設定します。

2 指標の選定基準

- (1) 様々な階層、集団の人が理解でき、それぞれの立場で利用できるもの
- (2) 多数の住民の注意を喚起し、実際の行動に向かわせるもの
- (3) 地域で行われる活動や改善のための個人の行動の成果が結果に反映されるもの
- (4) 健康日本21（第二次）や県総合計画、第3次ふじのくに健康増進計画との関連を明確にし、整合性を図ること
- (5) 県、市町により調査・追跡が可能なもの

3 食育推進の指標一覧

	項目	現状値	目標値(平成34年度)	出典
1	朝食を毎日食べる幼児、児童、生徒の割合の増加	幼 98.7% 小 98.5% 中 96.5% 高 96.3%	100%に近づける	平成25年度 朝食摂取状況調査
	朝食を毎日食べる人の割合の増加（20～30歳代男性）	70.5%	85%以上	平成25年度県民の 健康に関する意識 調査
2	肥満傾向の児童の割合の減少	小 6.55% 中 7.37% 高 7.25%	減少傾向へ	平成25年度 学校保健統計
	低栄養傾向（BMI 20以下）の割合の増加の抑制（65歳以上） ※	22.6%	26%	平成25年度県民の 健康に関する意識 調査
	肥満者の割合の減少（20～60歳代男性） 肥満者の割合の減少（40～60歳代女性） やせの割合の減少（20歳代女性）	25.2% 17.0% 21.3%	22%以下 15%以下 20%以下	平成25年度県民の 健康に関する意識 調査
3	栄養バランスのとれた朝食をとっている幼児・児童・生徒の割合の増加	幼児 45.7% 小6年 56.4% 中2年 47.9% 高2年 46.1%	70%以上	平成25年度 朝食摂取状況調査
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	47.3%	80%	平成25年 県民健康基礎調査
4	食塩摂取量平均値の減少（20歳以上の男女）	男性 10.1g 女性 8.6g	男性 9g未満 女性 7.5g未満	平成25年 県民健康基礎調査
5	野菜摂取量平均値の増加（20歳以上の男女）	男性 280.1g 女性 256.0g	350g以上	平成25年 県民健康基礎調査
6	果物100g未満の割合の減少（20歳以上の男女）	44.3%	30%未満	平成25年 県民健康基礎調査
7	「子ども一人」で朝食を食べる割合の減少	幼児 15.5% 小6年 26.9% 中2年 41.4% 高2年 54.5%	減少傾向へ	平成25年度 朝食摂取状況調査
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	1週間に8.6回	1週間に10回以上	平成25年度県民の 健康に関する意識 調査
8	ヘルシーメニュー（食塩や脂肪が少ない、野菜が多い等）の提供をしている特定給食施設（事業所、一般給食センター）の割合の増加	70.6%	100%に近づける	平成25年度 給食施設実態調査
9	管理栄養士・栄養士を配置している特定給食施設の割合の増加	70.1%	80%	平成25年度 給食施設実態調査
10	食育に関心のある人の割合の増加（20歳以上）	76.5%	90%	平成25年度県民の 健康に関する意識 調査
11	学校給食における地場産物を利用する割合の増加（食材数ベース）	30.5%	45%以上	平成24年度 学校給食栄養報告
12	よく噛んで味わって食べている者の割合の増加（20歳以上）	74.1%	80%以上	平成25年度県民の 健康に関する意識 調査
13	農林漁業体験を経験した者の割合の増加（20歳以上）	(H26 調査予定)	現状値の10%増加	茶業農産課調べ
14	緑茶を毎日飲む者の割合の増加（20歳以上）	58.9%	70%以上	平成24年度県民の 健康に関する意識 調査

※ 今後、高齢者人口のうち、75歳以上高齢者の占める割合が増加することから、現在（平成25年）の出現率がその後一定と仮定しても、平成37年にはBMI20以下の者の割合は、26.5%に達すると推計される。これを上回らないことを目指し、目標値は26%とする。

